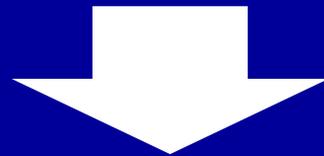


# 措置入院患者の入院後の経過と 退院に向けた支援のあり方

- 日高 真紀                      倉永 笑民\*<sup>1</sup>                      萩原 嬉胡  
    蛭原 夕起子                      杉尾 重子                      藤崎 淳一郎  
    (中央保健所                      \*<sup>1</sup>健康増進課)

# はじめに

- 平成25年度中央保健所研究報告
- 相模原市の障害者支援施設における  
事件の検証及び再発防止検討チーム  
報告書 ～再発防止の提言～



措置入院者の現状について  
改めて、集約・分析

# 対象と方法

## 対象

平成28年度中に当保健所において申請等を受  
理し、措置入院となった30名。

## 方法

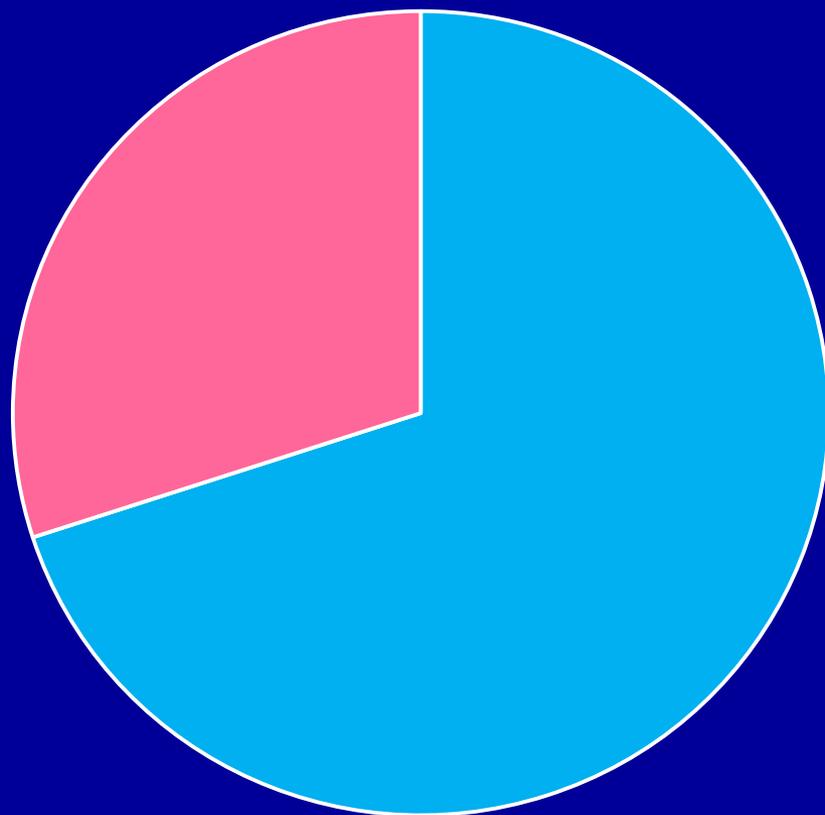
措置入院に関する診断書、症状消退届、経過記  
録等を基に、措置入院後の経過について集約、  
分析。

結 果

患者の属性

# 性別

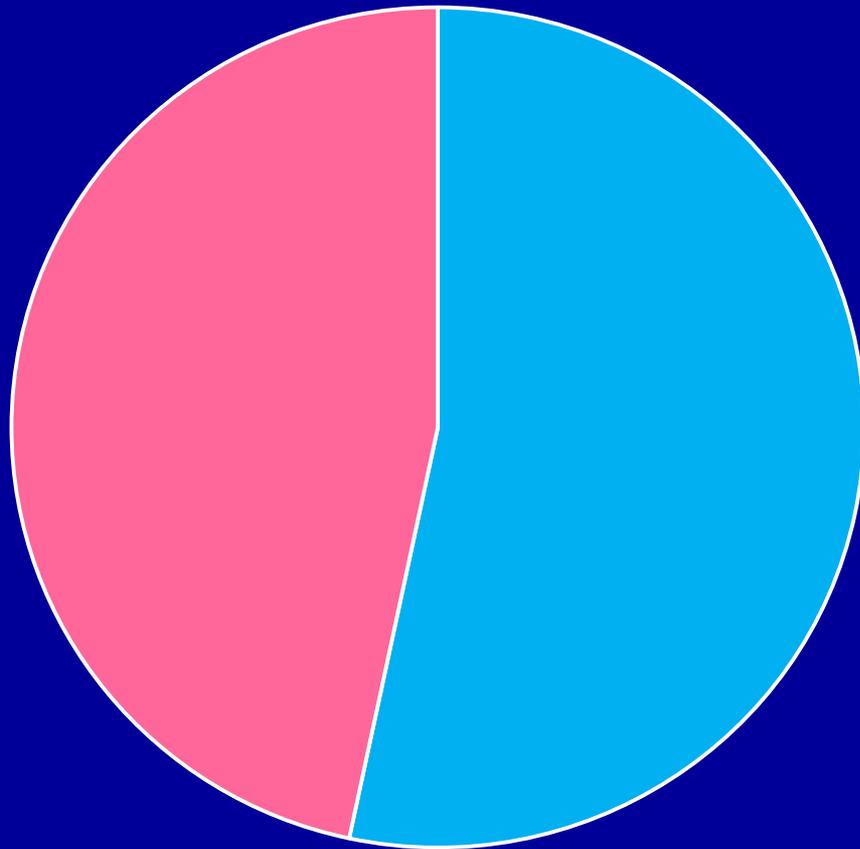
n=30



■ 男  
■ 女

# 受理状況

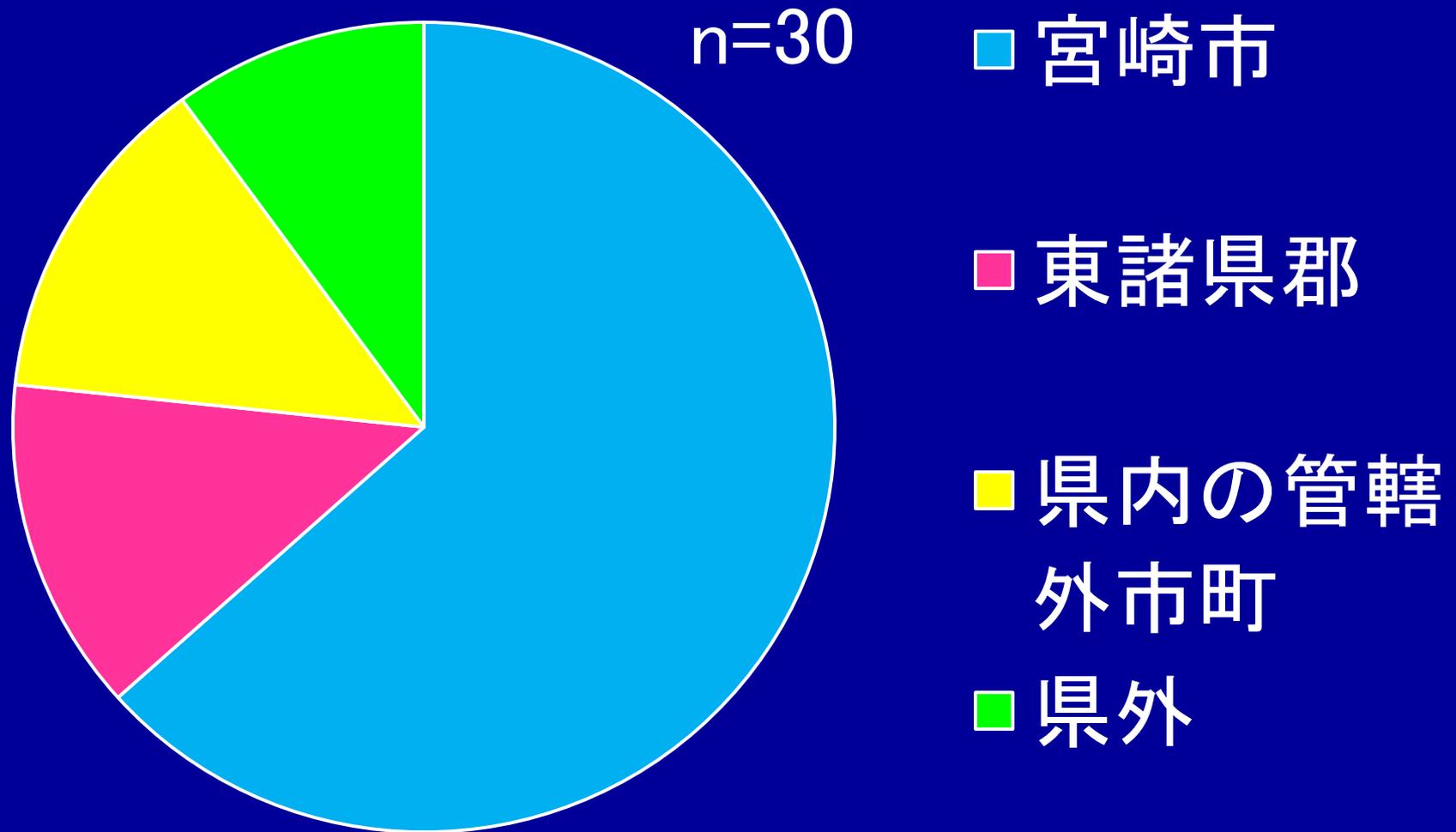
n=30



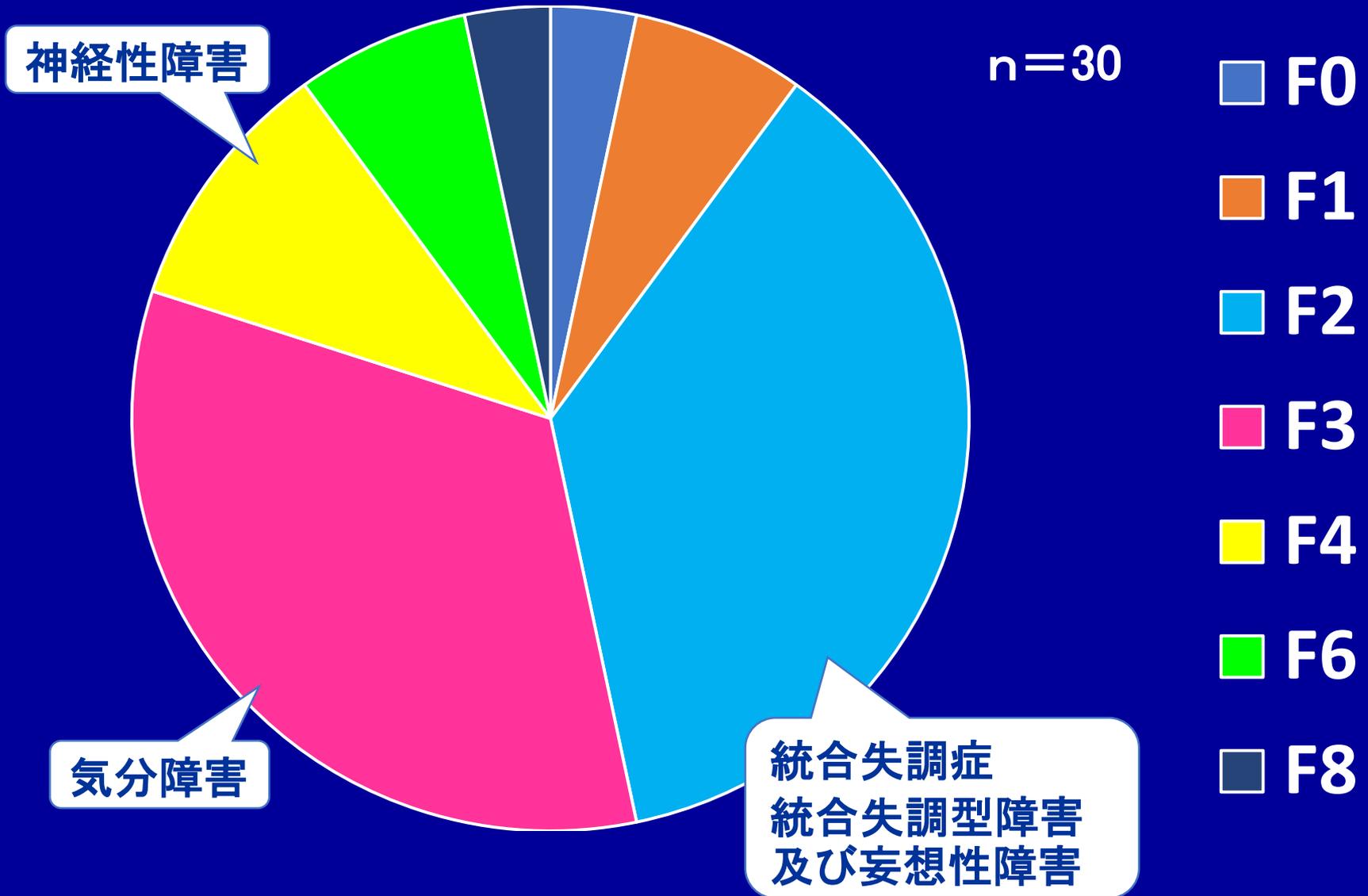
■ 一般人からの  
申請 (22条)

■ 警察官通報  
(8条)

# 住 所 地

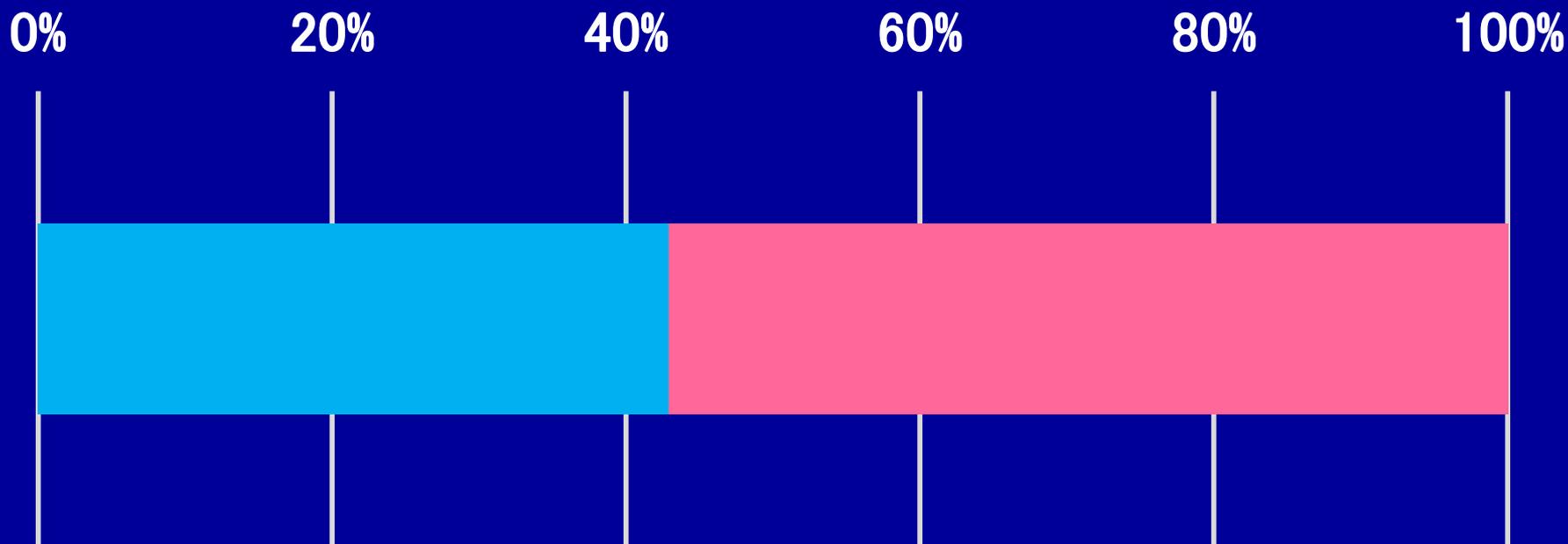


# 診断名



# 措置解除までの期間

※調査時点で措置入院中の者は除く n=28



■ 1ヶ月未満

■ 1ヶ月以上3ヶ月未満

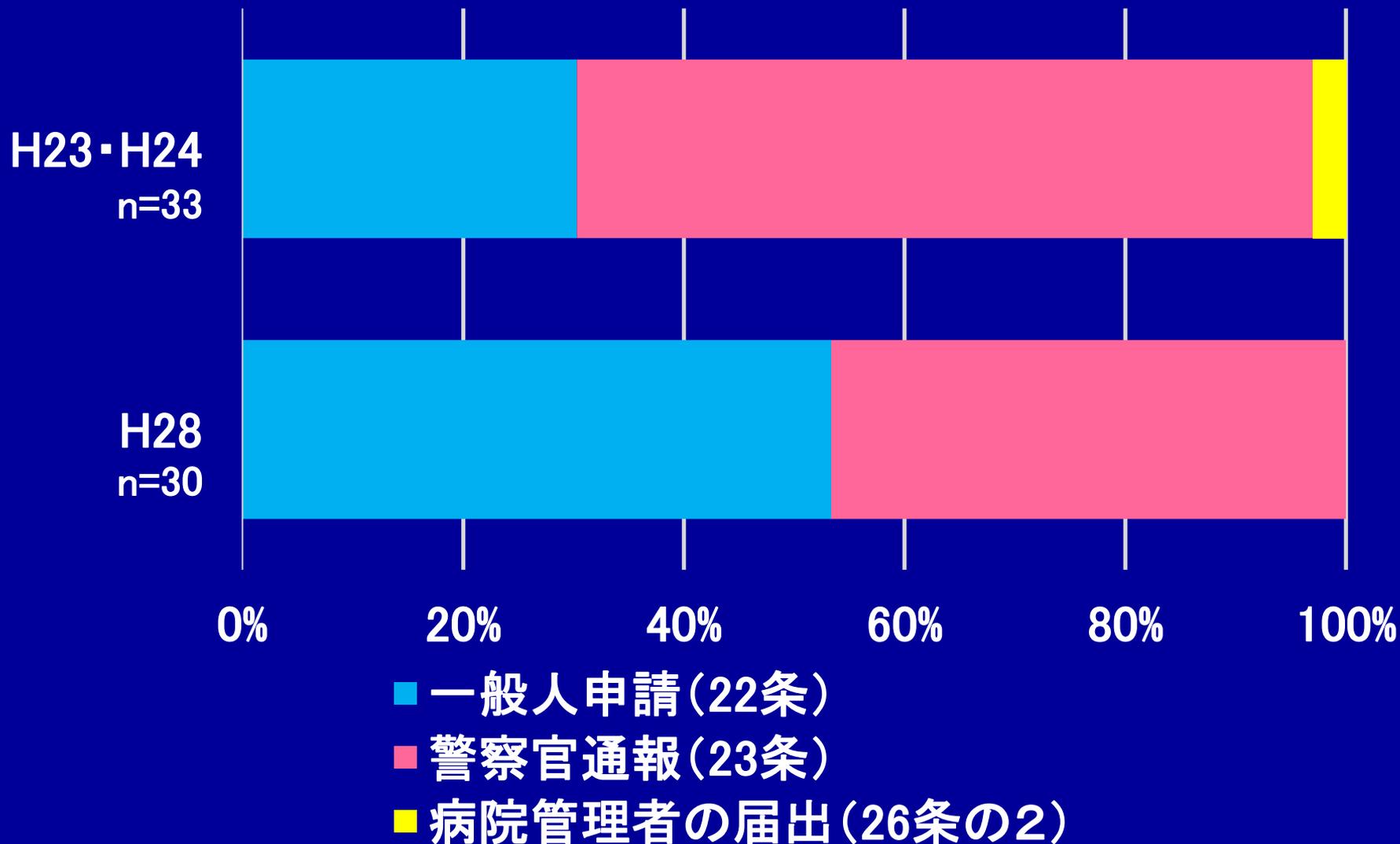
# 措置解除者への支援状況

	全体		〔再掲〕 事件後	
	平均 日数	人数	平均 日数	人数
措置入院期間	35.1日	28人	37.3日	17人
措置入院後の本人面接までの 日数	28.8日	28人	26.8日	17人
ケア会議・地域支援者を交えた 本人面接までの日数	48.0日	26人	32.9日	17人

**前回報告との比較等からみる**

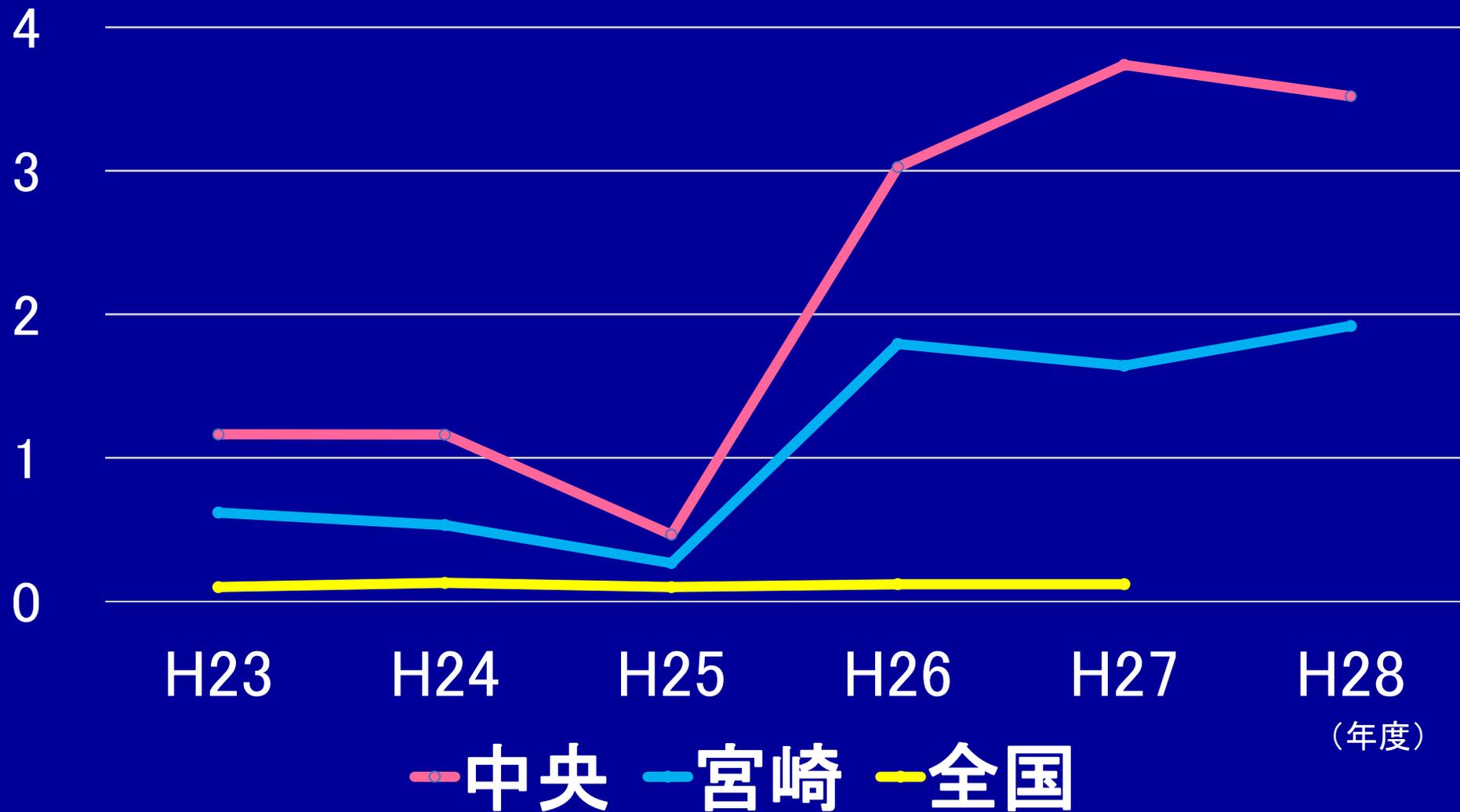
**H28年度の傾向**

# 受理状況



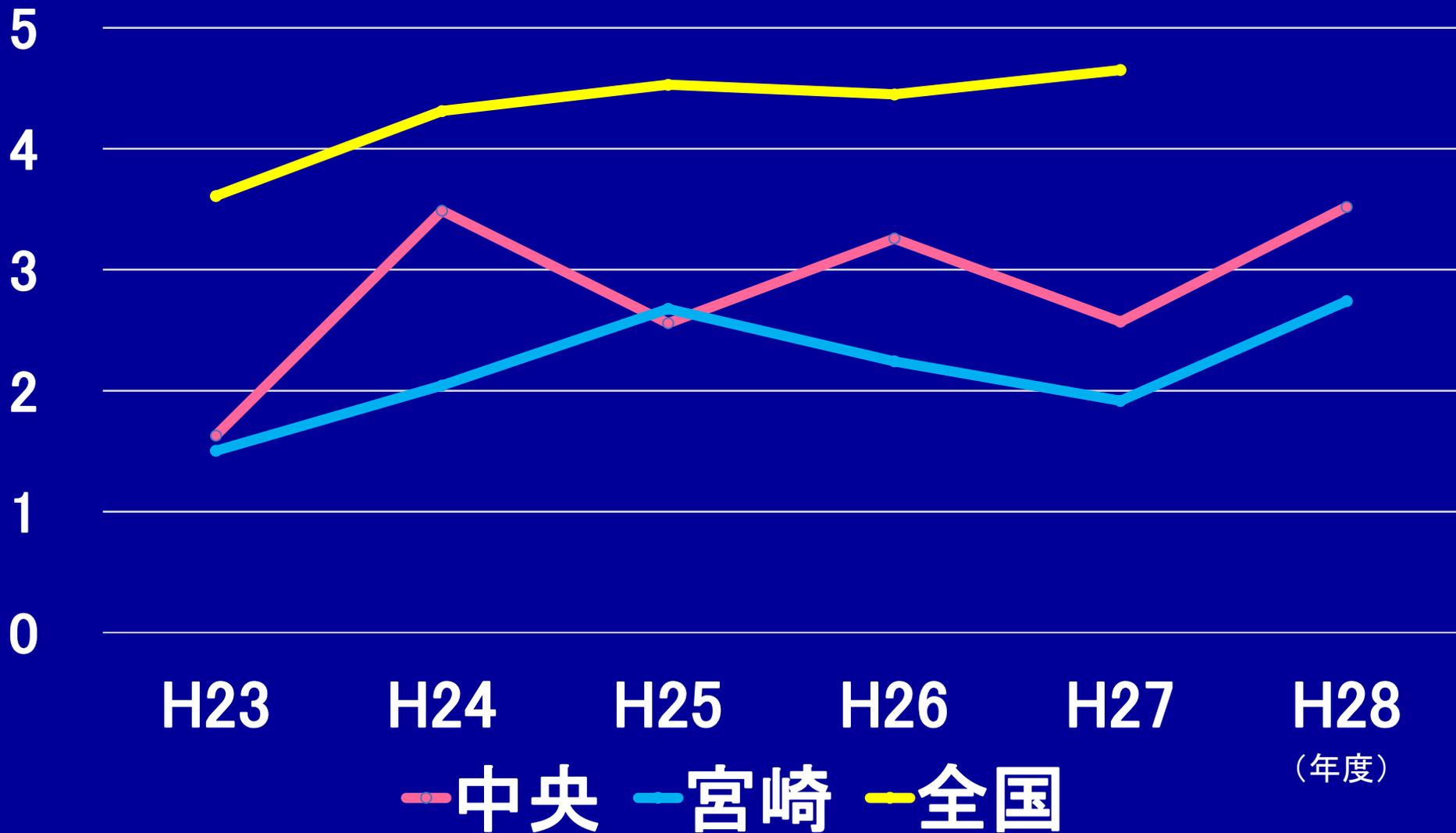
# 一般人申請による措置入院患者

(人口10万対)



# 警察官通報による措置入院患者

(人口10万対)



# 診断名



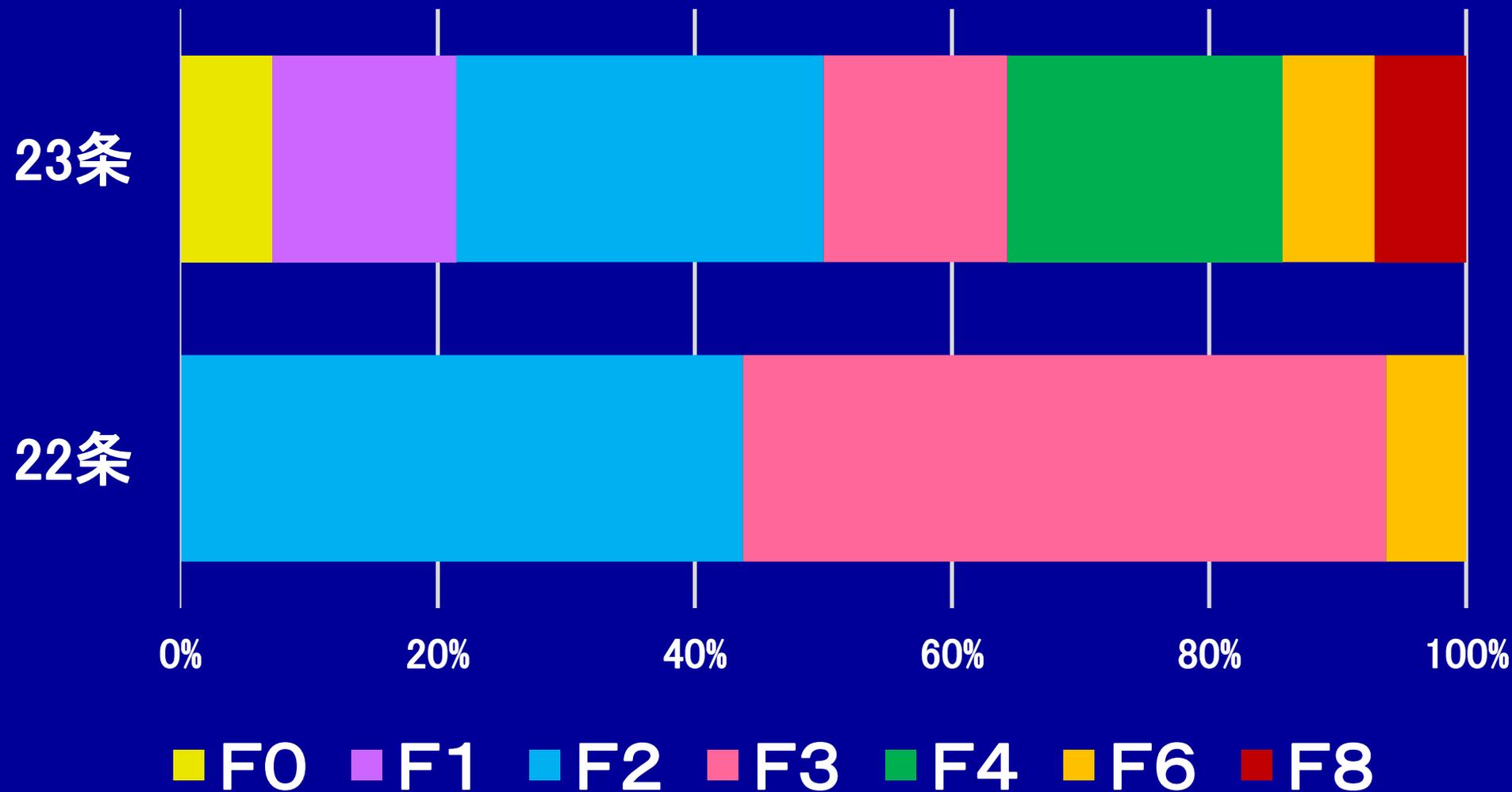
統合失調症  
統合失調型障害及び妄想性障害  
(30ポイント減)

気分障害  
(15ポイント増)

F0 F1 F2 F3 F4 F6 F7 F8

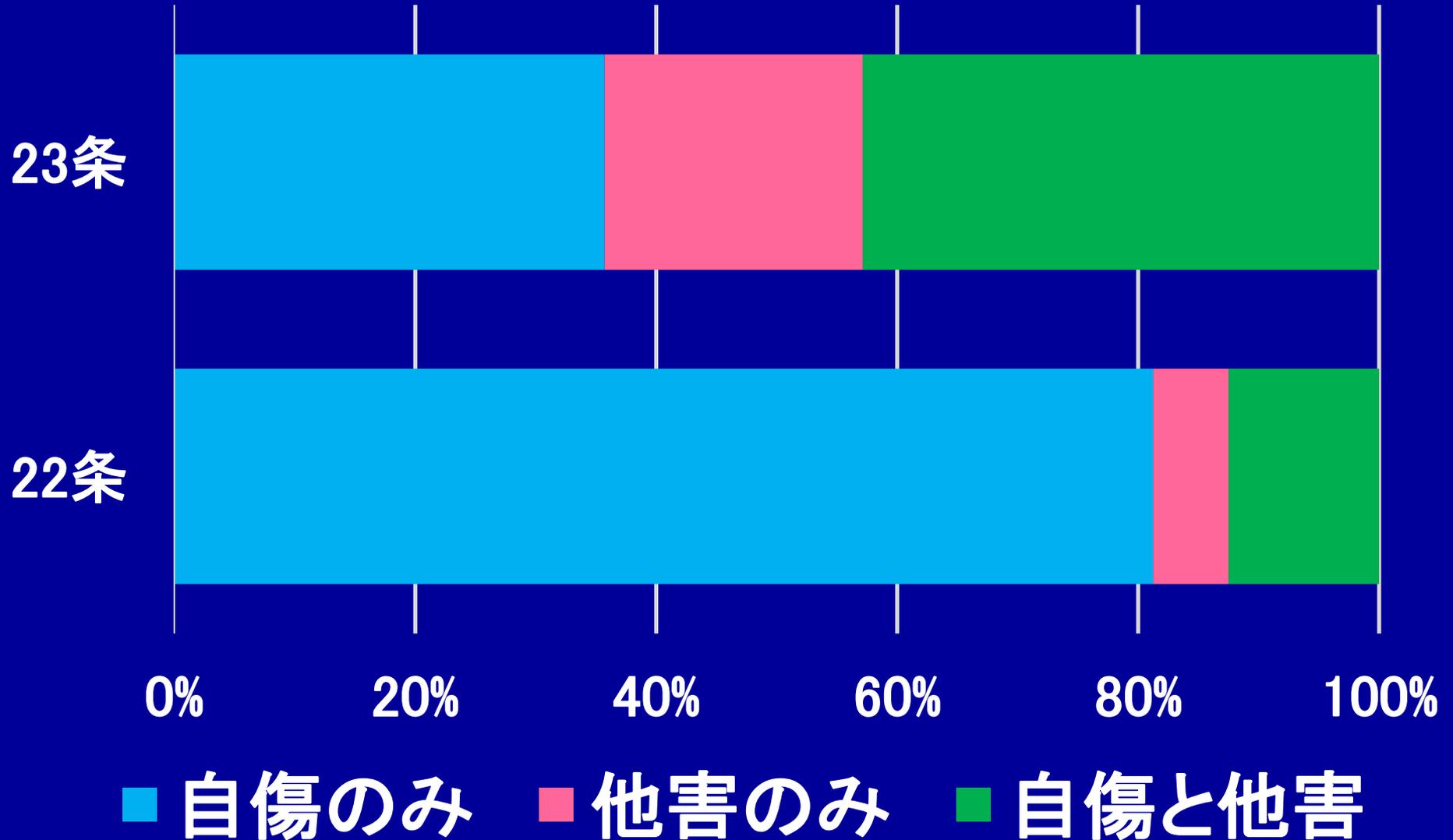
# 措置入院者の診断名

(H28年度通報状況別)



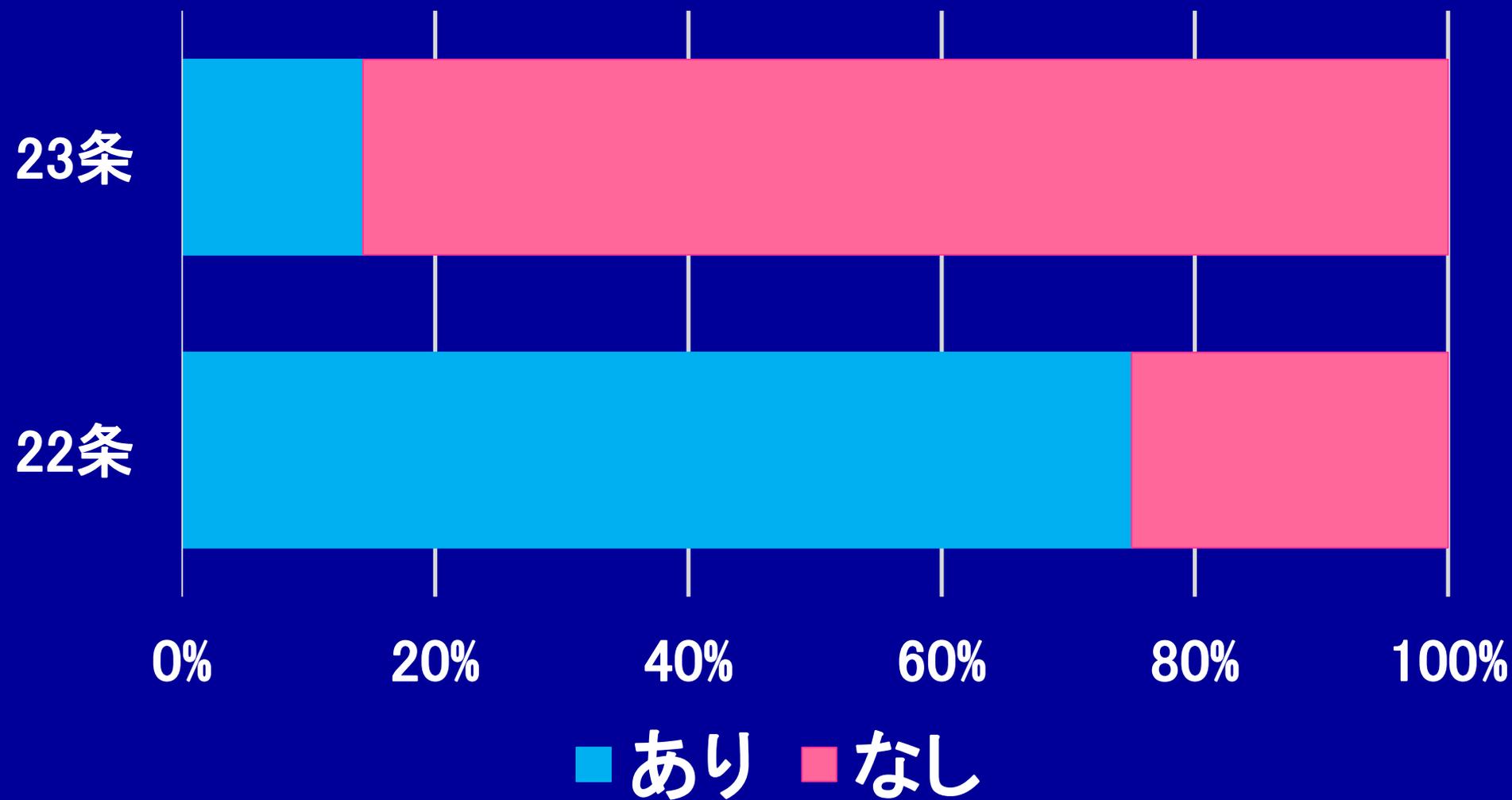
# 措置診察時に確認された問題行動

(H28年度通報状況別)



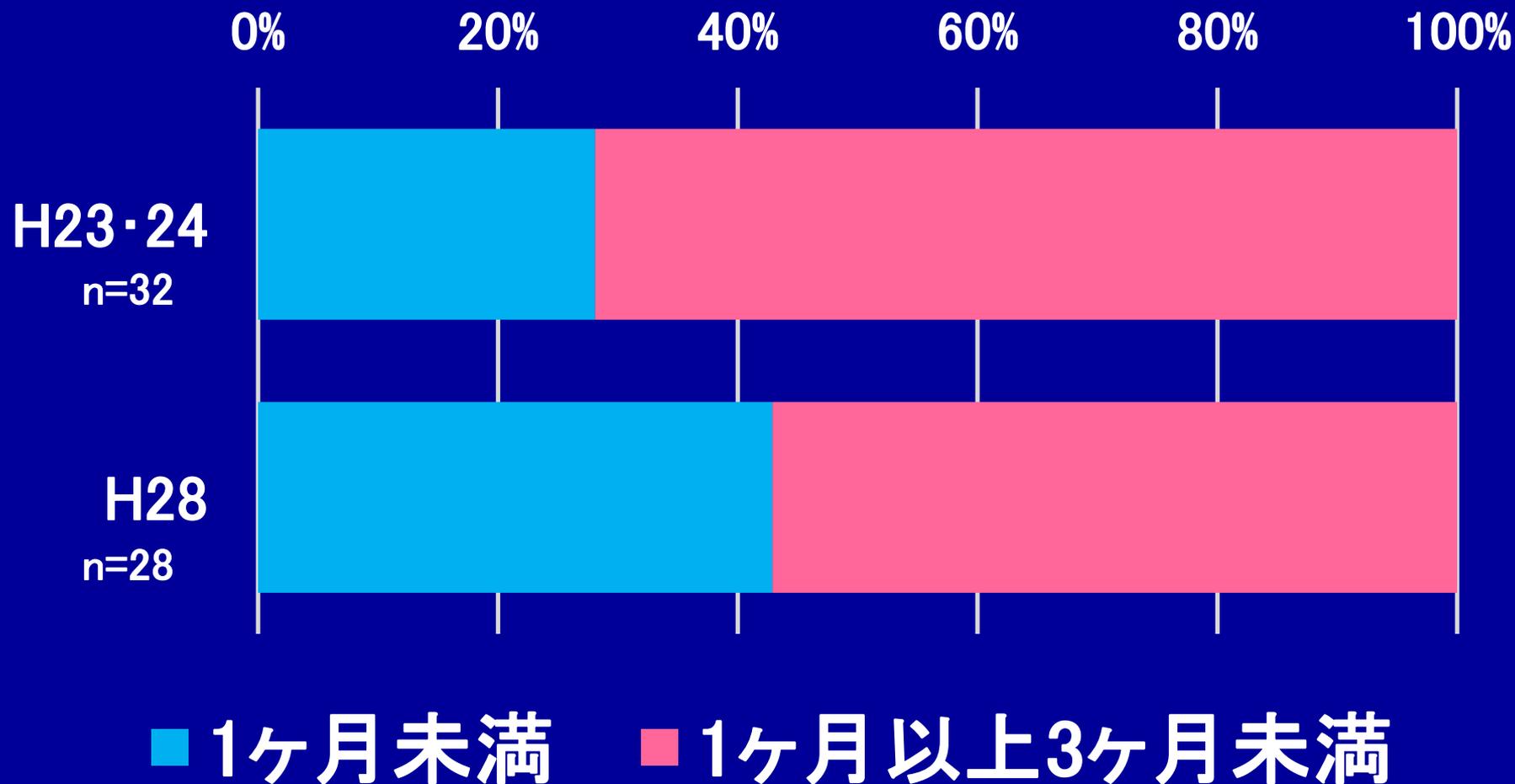
# 措置入院者の身体合併症

(H28年度通報状況別)



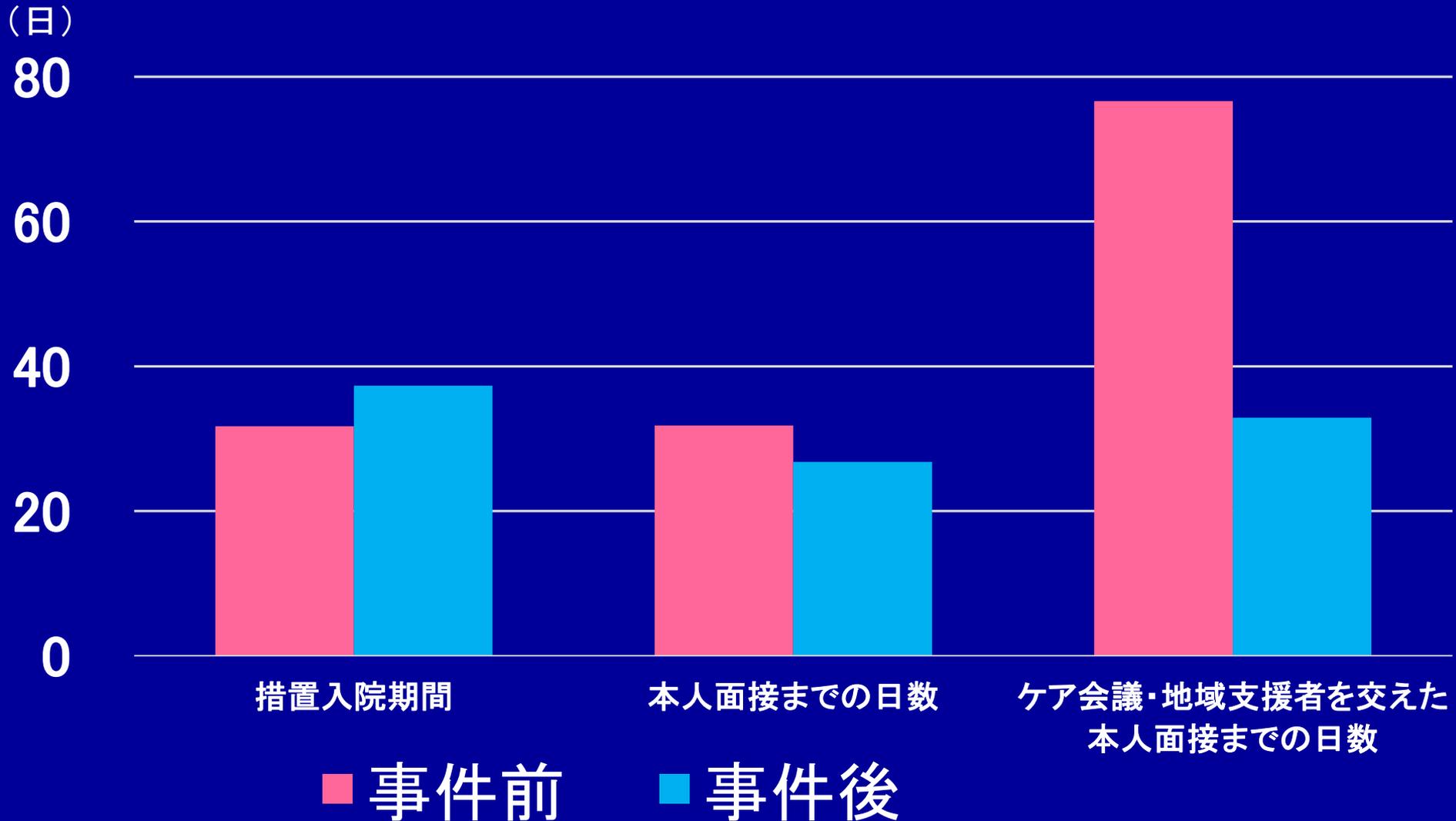
# 措置解除までの期間

※調査時点で措置入院中の者は除く



# 支援までの所要日数

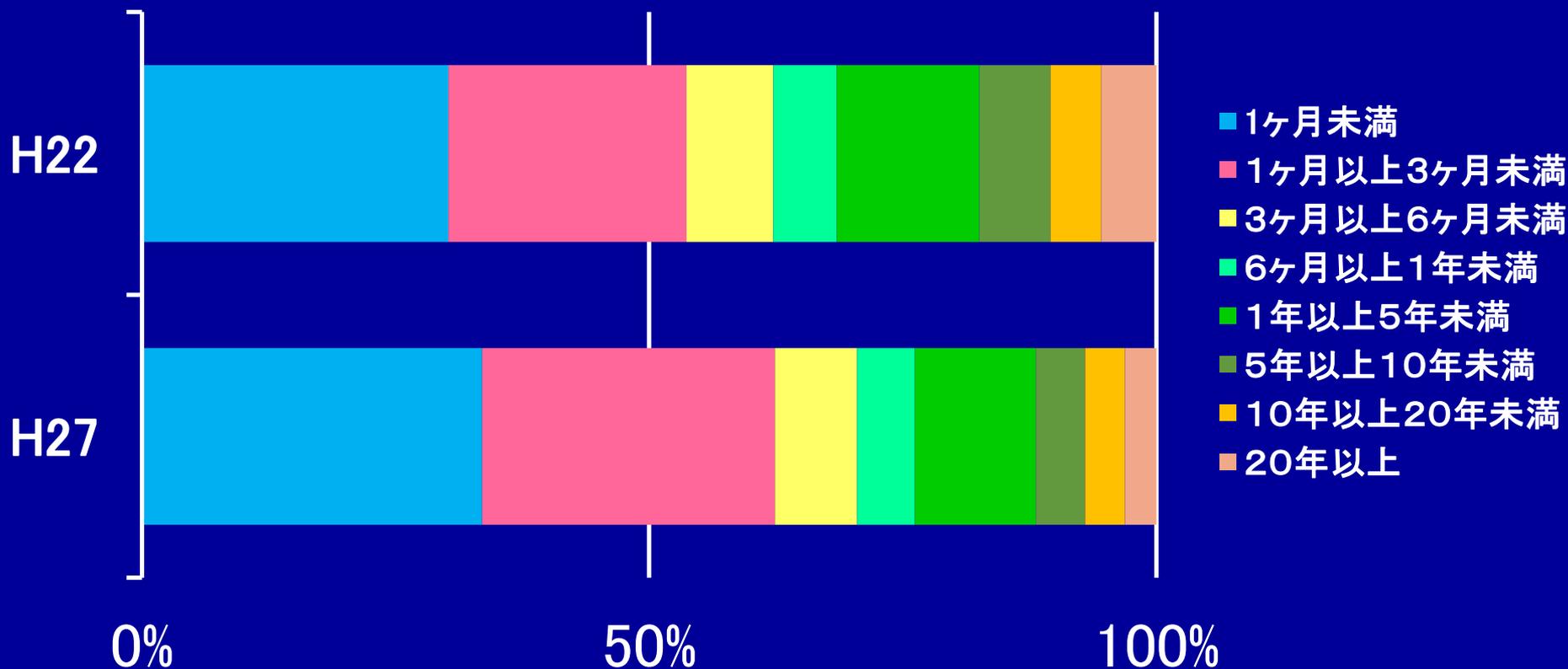
(H28年度支援状況～相模原事件前後の比較)



# 考 察

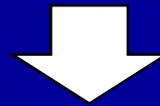
# 政府統計

## 6月30日時点で措置入院となっていた患者の入院期間



# 措置入院者への退院支援

措置入院期間の短縮化

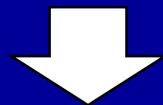


入院直後からの  
退院支援

# 措置入院者への退院支援

## 措置入院者の多様化

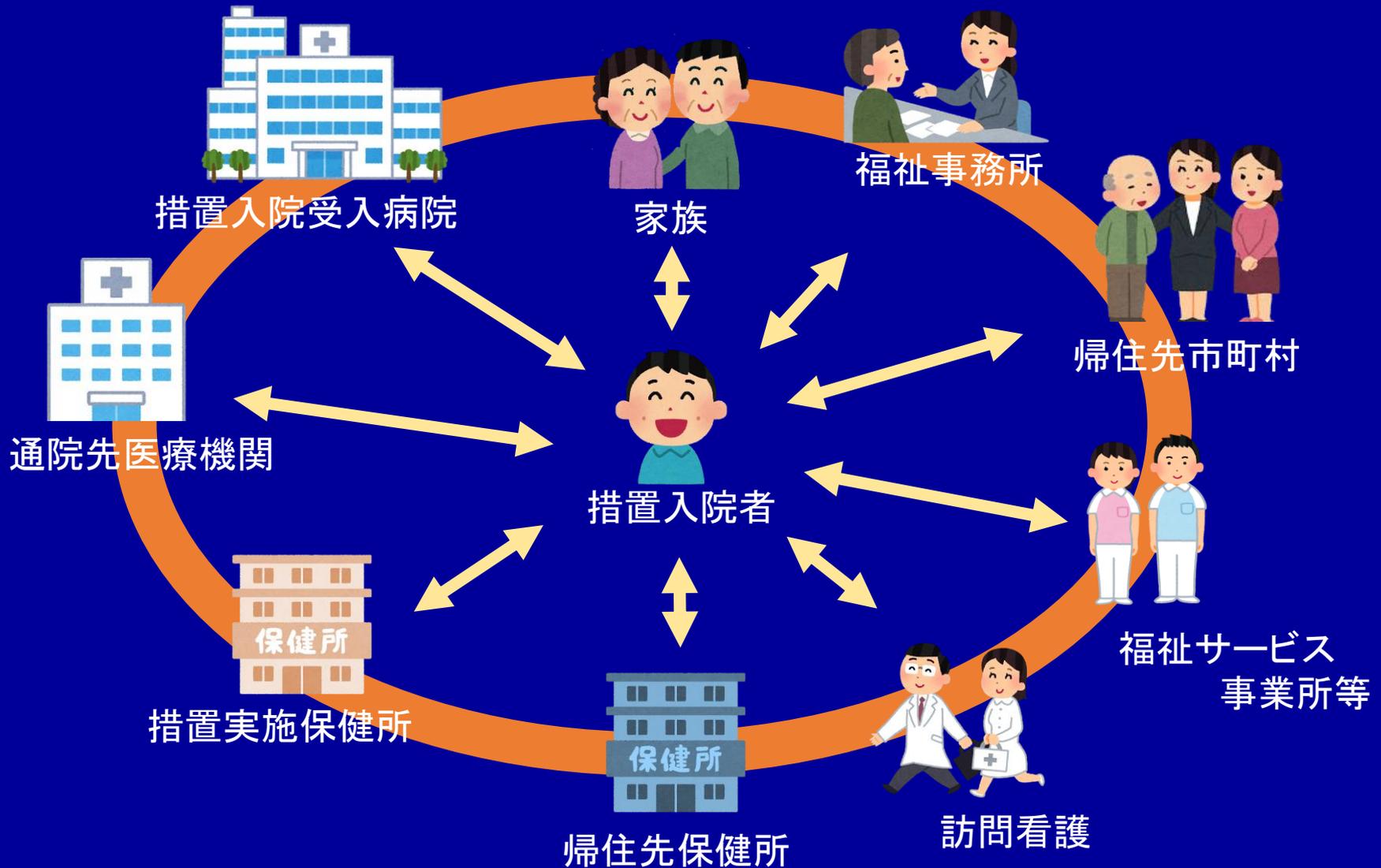
- 自殺企図等による措置対応事例の増加
- 診断名F3(気分障害)の増加
- 発達障害者、身体疾患合併者への対応



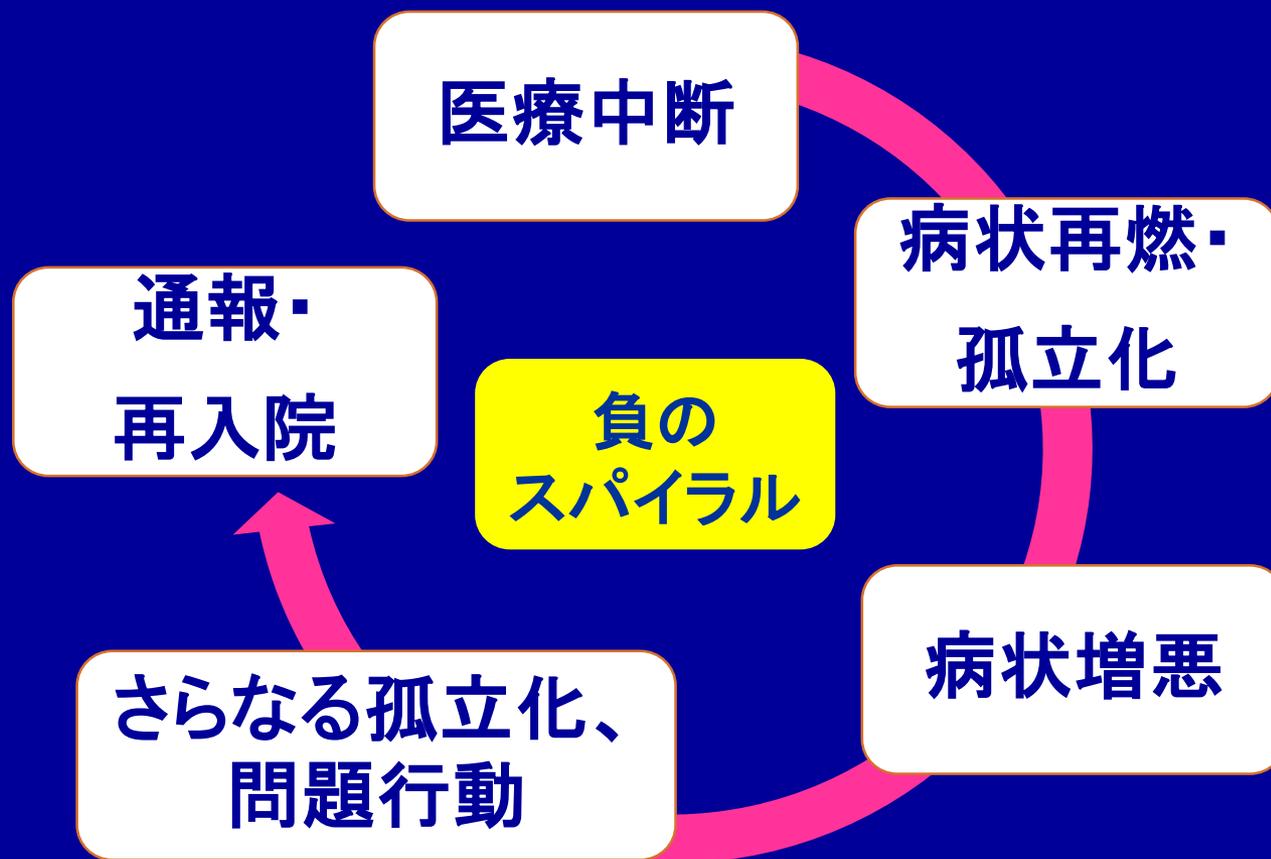
個別の背景に応じた

地域支援体制づくり

# 措置入院後の支援体制



# 再度の措置入院を防ぐために



退院後の医療と地域相談支援の継続

⇒ 孤立化させない体制の持続

# 今後の課題

- パーソナリティ障害や広汎性発達障害を主たる病名とする措置入院者への退院後継続支援のあり方
- 措置実施保健所と帰住先管轄保健所との情報共有のあり方